

I'll do something と I'm doing something
I'm sorry to…/ I'm sorry, but…/ I'm afraid…/ I shan't be …ing など
It is…that…の強調形の使い方

Why do you get married?/ Why are you getting married?/ Why will you get married?
be doing (動作今以後) と be going to do (=intend to do) (計画今以後) について
be to be…

be+p.p. と get+p.p. について

can hardly… 「(いくらなんでも)…するわけにはいかない」と「もう少しのところで出来ない」・「(…できることはできるのだけれども)やっとのことである」

can't [cannot] の使い方

could の注意点 「星明かりのなかに、人影が見えた」

each (それぞれ) 「犬猫たちにはそれぞれ…」

every time…と whenever…の感覚

except と except for について

for…years と during…years の違いについて

hardly (ほとんど…ない) と almost (ほとんど)

if you don't hurry…と hurry, or…について

in which と where の感覚

in words と by silence

isn't と is not

it…that の強調構文 「沢木医師が…したのは…だった」

like と be fond of

mistakes と has mistaken について

most+名詞/ most+of+名詞

no + longer than と no + as long as

of… と that… 「気づく」

only の位置

onlyの使い方 「所々に農家が点在するだけで」

some friends of Bob とは言えない some friends of Bob's の of Bob's

such a thing と such things

such とか so の感覚

surely の使い方 (certainly; I am sure など)

the ones/ those; ones など

there is a variety of…か there are a variety of…か

used to と would

wide か widely か 「目を大きく開き」

{a [the] …'s + noun}について

{any other + 単数・複数}について

{現実の時間に関わる} いつものこと

{主語の意図に対する話し手の確信} を表す be going to…

…したことがある (現在完了にするか過去時制にするか)

…していた (過去時制か過去進行形か) 「～を見つめていた」

…している (現在進行形か現在完了か) 「娘はピアノを習っている」

…と言われている (It is (often) said that…)

…も (besides の使い方)

…後 (afterとfollowingの違い)

「以後」の表し方

あまり…ないと思うの「あまり」

コロン(:)と間接話法

コロン(:)の使い方

コンマ+関係詞節と with…の関係

何らかの感慨・感情を含ませる主観表現としての現在完了「…であった」

過去も現在も含む時間は現在完了を使う

過去時制 (過去の事実) 「アメリカで生まれ」

過去時制 (過去の事実) 「アメリカの食べ物で育ち」

過去時制か現在時制か 「ずっと不幸だった」

過去進行形(was/ were + …ing)の背景性を止める

過去進行形「丘や森がするするすべっていく」

過去進行形と過去時制 「…していた」

冠詞「アメリカの文明史家バースティン」

冠詞の使い方 (一般論の場合でも定冠詞)

冠詞の有無「イギリスのセシル・ビートン卿」

完了形の用法 (感情表現)

感嘆文の間接話法 (英語では直接話法の文を地の文に入れることを嫌う)

疑問文への応答としての yes と no

強意の do

具体的イメージを伝達する冠詞の使い方

傾向の will 「すぐ気がつく女も大勢いる」

現在の習慣「……と言っている」

現在完了（今まで・これからも）

現在完了（主観表現）

現在完了「男は経済力があるからと敬い、男に仕えていた女がある日突然……」

現在完了と現在完了進行形「最近、……になってきた」

現在完了について「また、亭主と喧嘩でもしたのか？」

現在時制・過去時制・現在完了など「有名人が作り出された」

現在時制か、現在完了か、過去時制か「六歳から七歳になる間に……になり、……を着せると、まるでかかしみたい」

現在時制と過去時制「せっかく……してやったのに、うたがっている」

現在時制の日本語を過去時制に

現在進行形「自己反省である」

限定されている名詞か否か考えて冠詞を付与

限定詞付き先行詞+関係代名詞「横浜にある俺の事務所」

指示代名詞(this; that)と既知・了解代名詞 it と付加疑問

受動態(be+p. p.; get+p. p.)に関して

習慣を表す will と現在時制について

助動詞の使い方にに関して

進行形の使い方「ゆっくりと河が流れていた」

人称代名詞の使い方「She is a girl.」

相手がはっきりしない場合の they

相手の同意を求める surely 「(むしろ)考えるべきではないだろうか」

地の文の直接話法文「……といって、……」

中間話法（時の名詞と時制の問題）

直接話法の文を地の文に混ぜない

直接話法を地の文にいれるのは日本語特有

定冠詞と不定冠詞「救急車」

定冠詞と不定冠詞「魚のにおい」

定冠詞と無冠詞「池のまわりのアカシアの花」

定冠詞の forest と無冠詞の forest

定冠詞の感覚「プラタナスの枯葉」

定冠詞の用法「捨てられたばかりの犬」

動名詞と不定詞：冠詞の使い方

日本語の現在完了に関して

日本語の話法と英語の話法

能動態と受動態「救急車を呼んだり……」

不定冠詞・無冠詞複数「丘や森が……」

不定詞と動名詞「鉛筆を削ること」

複数の効能

文構造と時制（現在時制）の問題

補語になる名詞の無冠詞と不定冠詞「ニューヨーク特派員をしていた」

無冠詞（唯一の役職名補語）

無冠詞「小学校をおえる」

無冠詞「中学に通う」

無冠詞複数「女はどうせ……」

無冠詞複数と定冠詞複数「若い娘」

了解要請の the と未了解の a(n)

了解要請の the 「男は……」

話法（直接話法→間接話法+副詞）「すいませんとあやまってしまう」

話法（直接話法→間接話法+副詞）「自分で間違えておきながらどうして違うんだよ、と突っ掛かってくる者もいる」